

起業したい！

今月の人 北口祐規子さん

女性が起業したい、という想いを持つた
なでその傾向は変わってきた。女性の場合は上場したいという
ますが、主婦が小さな夢を叶えたい、
ケースも多いですね」

北口さん他20名の診断士は、一人ひとり
独自のプランに目を向け、女性の診断
士ではの細かなアドバイスで起業する
望を与えている。

■「らくうえる。」の主な設置場所
スーパー・サンプラザ(13店舗)・くまざき歯科・LICはびきの・す
ばるホール・はびきのコロセアム・ラブリーホール・富田林市觀
光協会・SAYAKAホール・プリズムホール・リビエールホール・
FMちやお・ハーベス・キックス・クリーンピア21・ぱいせん工房
珈琲俱楽部・はびきのスイミングスクール・フォレスト三日市・
根っこや・花旬彩・うぐいすの湯・函館市場・八尾柏原ドライブ
ングスクール他協賛店舗

■会社をやる気にさせる
女性中小企業診断士
中小企業診断士という固い響きから、偉い先生、仕事に厳しい、というイメージがあつた。しかし、応接室を開けた途端、明るい笑顔で出迎えてくれた北口祐規子さんは、どこにでもいる、と言っては失礼だが、ごく普通の穏やかなお母さんという雰囲気。ところが、北口さんは、実はどこにでもいる人ではなかつた。

中小企業診断士とは、経営者にアドバイスを与えて、これから会社を起こそうとする人を支援するのが仕事である。その試験は難易度が高く、その中でも情報部門で活躍する女性はきわめて少ない。大学卒業後、コンピュータシステム開発の会社に勤務。30歳の時に退職し、フリーとして小さな会社のシステムを作っているうちに、「言われただけのコンピュータシステムを作るだけではその会社の手助けにはならない、その会社が何をしようとしているのか知らなければ……」と考えるようになつた。そして、中小企業診断士という仕事が自分の思いに当てはまつていることを知り、この道を歩き出す。大阪で一番目の女性の診断士だった。「会社の内部を調べ、改善しなくてはならない点などのアドバイスを与える」とさりげなく言うが、男性の多い企業の中で、働いている人のプライドを傷つけないよう、誤りを指摘するのは想像しただけでも厳しい仕事だ。しかし、北口さんは、

「この仕事はマラソンの伴走者に似ています。タイミングよく後ろからポンと押してあげる」とあります。今まで起業を支援することは、大きな利益です。インターネットビジネスであれば、オンラインに出品するのにいくらかといふような損益ですね。そこから、自分の弱みや強みを客観的に見ます。すると、がっかりしてあきらめる人もいますし、「このように考へるのか」と気がつき、方向性を見い出す人もいます」

起業すると、すぐく飛躍することもあります。でも、やる気がないと転ぶだけ。どうやって、やる気にさせるか、なんですね。私は、助けて、ほんと、お節介焼きなんですよ」と、この仕事を長く続けられたわけを笑顔で話す。が、現在全国初の女性のプロジェクトマネージャー(大阪府中小企業支援センター)であり、その実力は高く評価され、活動の範囲は広がる方だ。

■起業を目指す人たちに希望を

2000年頃に、診断士の仕事の一つとして「中小企業支援センター」を通じて、起業を目指す人を支援するという法改正が施行された。北口さんはそのことを受け、10年前に女性の診断士数人と、「ピザの会」を立ち上げた。最近では、女性が起業を目指すことが増え、多様なプランが見られる。その二

「事業への熱い思い、これをやりたい起業しても成功する人と失敗する人が違うのだろう?」

「強い思いは必要ですね。でも、それだけは成功しません。人のアドバイスに耳を立てるのは、成功しません。人のアドバイスに耳を立てる資質をもっていないとダメですね。なるべく思っているのは、あるんですけど、それを客観的に見つめる目がないと。自分の思いを客観的に見るのは難しいので、私たちが客観的にアドバイスします。まあ、熱いものに、水のような…:ということもありますよ」と、ビジネスが成功した人はよくこう言います。「苦労なんかしてませんよ」と。本音と、ビジネスが成功した人はよくこういふことがあります。「苦労なんかしてませんよ」と。本音と、苦労したのでしようが、そう思ふからなんですかね」

北口さんは、起業しようとする人たちは、後押しするために、いつも前を向いてきただろう。そして北口さん自身、「私は好きな仕事ですから…。今の立たれることは、私を押してくれた人たちによるからなんですね」と、心からの感謝の気持ちが伝わった。

12月25日

TEL.072-931-1015/FAX.072-931-1013
毎月1回25日発行/創刊:2001年9月1日

配布地区・方法 藤井寺市・羽曳野市・富田林市(読売新聞・朝日新聞折込)・(一部)南河内郡・大阪狭山市・河内長野市・柏原市・八尾市(読売新聞折込)・協力機関・店舗設置
発行部数 85,000部
発行所 有限会社 ステラ 〒583-0011 大阪府藤井寺市沢田1丁目31-3

NHK「かんさい1番」で放映!!
痛い靴は、健康を害します。
その前に、シェールブティックへ!!
新聞でおなじみの「はきやすい靴」ひと筋の店
シェールブティック
TEL.072-953-1035
http://www.8181.net/links/kutu-dr/
2006.12.5撮影風景



生き甲斐をもち輝き続ける素敵な人をご紹介 No.76

■PROFILE

中小企業診断協会大阪支部常任理事
IT経営総研チーフコンサルタント
女性企業診断士の会「ピザの会」代表
羽曳野市在住 北口祐規子さん
(1954年生まれ)

大学生、高校生の二人の息子を持つ。現在、東京に単身赴任中の夫と、次男の野球応援が楽しみだった。忙しかった子育てが終わりに差し掛かっていることに、喜びと、一抹の寂しさをのぞかせる優しいお母さんである。

(聞き手 緒方ゆ